

一般質問

岡本 俊

(市民連合)

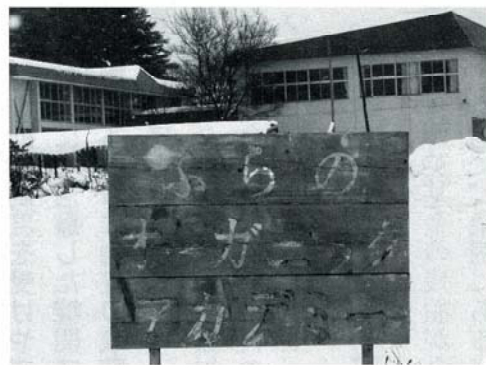
オーガニックアカデミー 構想の総括と今後の対応

問 オーガニックアカデミー構想の事業総括は。

答 平成19年度国の地域再生計画の認定を受け、旧樹海東小学校の民間活用を図り食農体験施設として開校し、都市からの交流の場とすることで農業振興と地域経済活性化を目指す中で、地域・行政も側面支援を行いながら農業の実践の拠点として講習会や研修、土壌分析など活動をしてきた。再生計画の最終年度であり、5年間の株式会社ジヤパンバイオファームによる事業の進捗状況を検証・評価を行うってきたが、当初計画より事業が縮小され、予定された事業が展開されていない部分が多く、新規雇用創出に至っていないことや交流人口の拡大や整備体制が図られなかったと考えている。

問 ジャパンバイオファームとの契約更新と復旧について。

答 旧樹海東小学校跡地利活用推進本部、東山地域連絡協議会などと慎重に協議を重ねたが、平成24年度からの賃貸契約は困難であると考えている。仮に賃貸契約を行わなければ、契約書どおりに原型復旧となる。



ふらのオーガニックアカデミー

避難所の管理運営は

問 避難所の管理運営の具体的なマニュアル作成について。

答 防災計画及び避難支援プランには、実際の避難所運営を誰が担当するか示していない。災害が大規模であれば避難生活も長期化し行政のみで運営は成立しない。運営組織の在り方や要支援者への配慮、プライバシーや安全の確保に配慮し策定している。

大栗 民江

(公明党)

防災対策は

問 防災計画づくりに、一般市民特に女性の声が反映される視点についての見解は。

答 避難支援プランの策定で意見反映を図った。地域防災活動がコミュニティ強化になるので特に女性にはこの様な場面で力を発揮する事を期待している。

問 在宅で暮らしておられ災害弱者となると思われる方々の参加率を高める方策は。

答 自主防災組織や町内会単位での訓練実施を検討し、市民が具体的にイメージできるように取り組みたいと考えている。

問 洪水時避難所まで行くには遠く避難経路や自主防災活動に対する不安の声がある。避難所にも準ずる施設の指定方法等には。

答 一時避難先として民間高層ビルなどで構造がしっかりし、浸水のおそれがない施設については災害時の一時収容に協力いただくことも効果的と考えるの

で、協力の可能性について把握に努める必要があると考える。



富良野市防災講演会

公園整備は

問 公園の遊具は、主に子どもたちが利用するので日常的に維持管理が大切。老朽化した遊具に対する支援事業への取組みは。冬があるので健康増進・介護予防等の視点を取り入れた整備は。

答 公園長寿命化計画の取組みに対して補助制度が創設されており、23年度に45箇所を対象として計画の策定を予定している。少子高齢化で公園ニーズも変化していることから、快適かつ安全に利用できるよう整備、維持管理を検討していく。